

令和5年7月1日号

島野伝太郎一家の

まちなみ通信 No.50

～祝 50 号記念～



伝太郎：令和元年の5月に始まったこのまちなみ通信も今月で50号になりましたね。

建吉：おう。そうなんじゃ。50号も続いたつちゅうことを考えると、感慨深いもんがあるのう。

登場人物自己紹介



島野伝太郎：岐阜県育ち。海の無いところで育ったので、宮島の島の魅力に引かれ、宮島に移住。今はサラリーマンだけど、将来は日本文化体験の店がやりたいと思っています。



もみじ：宮島育ち。移住してきた伝太郎と出会い結婚した。宮島島内の幼稚園に勤務してます。



みらい：伝太郎の娘だよ。おじいちゃんが大好きで、古いお家が好き。宮島学園2年生で～す。



島居建吉：もみじの父じゃ。宮島生まれの大工で、腕に自信がある。古い町家が大好きで、重伝建になって張り切ってる。



うみ：建吉の妻です。宮島踊りを守ってます。町家通りで雑貨・みやげ物店を営んでいますから、皆さんごひいきにね。



マイク：僕ハ日本文化ヲ勉強ニ留学シテ、宮島ノ魅力ニ引カレ、移住シタ。今ハうみサンノ店手伝ツテル。時々建吉サンノ仕事手伝ウヨ。

令和元年5月に発行したまちなみ通信第1号に掲載

伝太郎：そうですね。第1号で僕の家族みんなを紹介したのがついこの間のことのように。

建吉：ほうじゃのう。50号までにはいろんなことがあったのう。

うみ：そうね。この1号が発行された令和元年の6月に歴史的な町並みを文化財として保存するため、廿日市市が伝統的建造物群保存地区として決定したのよね。

建吉：ほうじゃ。それから、建物の修理に市が補助ができるようになって、ちいとずつじゃが町並みに風情が戻ってきたじゃ。ほんで、令和3年8月にやあ、伝統的建造物保存地区の中でも特に



価値があつて重要つちゅうことで、重要伝統的建造物保存地区として国に選定されたんじゃ。



重伝建記念シンポジウム

もみじ：選定された冬にはシンポジウムも開催されたわよね。

伝太郎：そうだね。ほかにも、令和2



みやじまの町家に親しむ会

年の春には、「みやじまの町家に親しむ会」が発足して、町家や町並みの勉強する会が始まったり、夏には工事に関わる工務店や建具とかの職人さんが技術の伝承のために活動する「伝建宮島工務店の会」が活動を始めたりと、伝建に関係する団体の活動が始まりましたよね。



伝建宮島工務店の会

建吉：将来を担^にうていく若い学生さんたちにも講座や、町家の調査を行ったんじゃ。



うみ：平成15年に町並みの調査が始まってからいろいろなことがあったけど、伝建の建物って人が生活する場所でもあるから、この事業もたくさんの人が関わることで続いてきたんですね。



宮島工業高校の建物調査

建吉：人が住むことで建物も守られて、伝建の活動を通して人の輪も広がっておるんじゃ。それが町並みを守ることに繋がっていくんじゃ。

伝太郎：そうですね。伝建をとおしたまちづくりはこれからが本番ですね。

建吉：ほうじゃのう。

秋頃から

令和7年度の保存事業を募集する予定です

秋頃から再来年度に補助金の交付を受けて、建物を修理される方を募集する予定です。

詳しくは、時期が近づいてのご案内となりますが、補助金の活用を検討される場合は、工事の内容等について申請ができるよう準備をお願いします。審議会で優先順位を定めるため、応募者が多数の場合には、令和8年度以降になる場合があります。詳しくは、宮島企画調整課宮島まちづくり推進係までご相談ください。

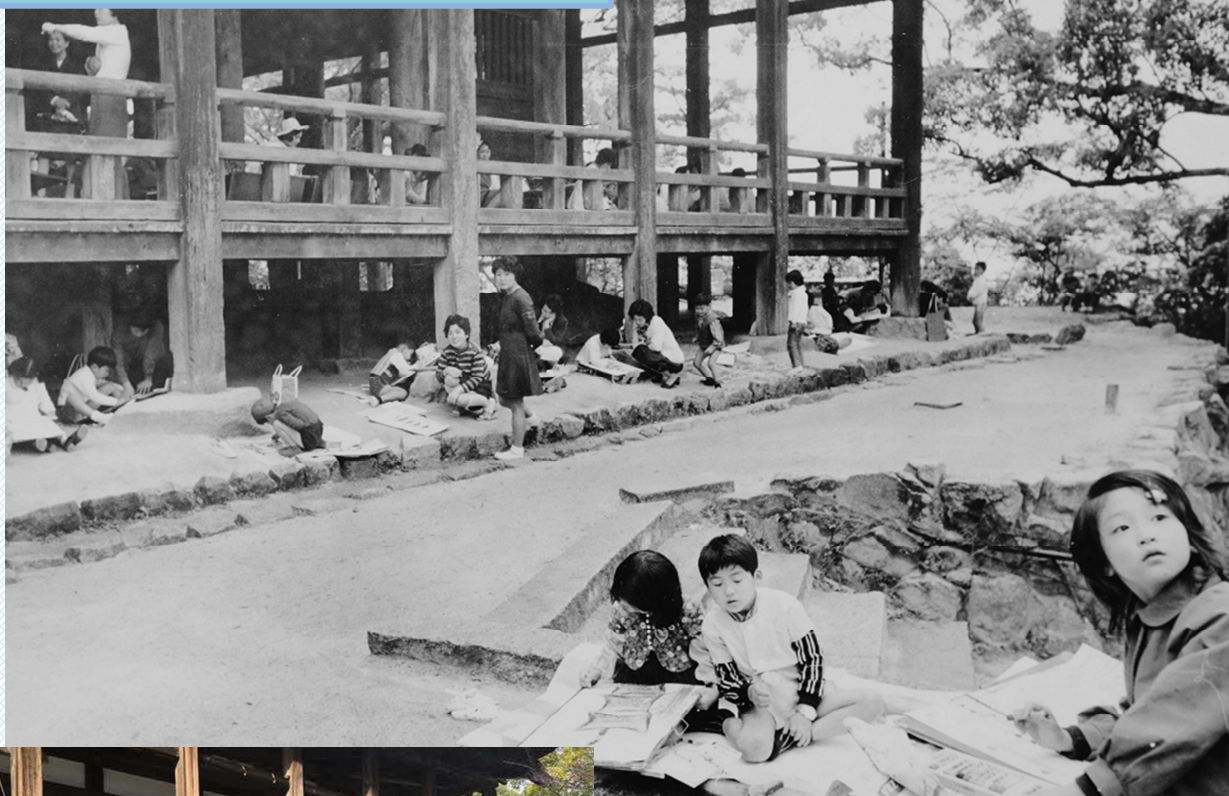
連絡先：宮島企画調整課(0829)30-9119

シロアリ駆除に対する補助制度があります

春から夏の時期は、シロアリの一部が新しい巣を作るため羽アリとなって飛び立つことからシロアリの発生を確認しやすい時期となります。建物の保存に同意をいただいている伝統的建造物所有者を対象に、シロアリ駆除のための経費補助があります。(補助率9/10 上限100万円) この補助を受けるには、いくつかの条件があります。駆除を計画されている方、シロアリの発生が心配な方は、宮島企画調整課宮島まちづくり推進係までご相談ください。

連絡先：宮島企画調整課(0829)30-9119

今昔写真を見比べて



この写真は昭和48年に行われた春期写生大会の様子を写したものです。

近隣の市町村から800人を超える子ども達が参加し、当時の佐伯郡内の島からは直接船で来島したところもあったそうです。

当日子ども達が描いた力作の中から選ばれた入賞作品は、厳島神社廻廊で展示されました。